

医薬情報の収集と発信

久光製薬は、医薬品を適正かつ安全にご使用いただくため、医薬情報担当者（MR）を通じて医薬品の適切な使用を促す情報提供活動を行っています。また、医療現場の情報を迅速に集約・分析できる体制を構築し、患者さんや医療関係者により安全と安心に役立つための情報を提供いたします。

医薬情報担当者（MR）

久光製薬は、患者さんや医療関係者に対して、安心して医薬品を使用していただくため、当社の商品の有効性や安全性に関する情報提供や副作用などに関するさまざまな情報収集のために全国にMRを配置し活動を行っています。当社は、医師や医療関係者などが参加する医学研究会の共催や医療機関での商品説明会なども積極的に行い、最新の医薬情報および適正使用情報の提供に努めています。

●ケトプロフェン外用剤の副作用に関する対策

モーラス[®]テープなどのケトプロフェン外用剤の副作用の一つとして、使用後にその部位が紫外線に曝露されることによって生じる光接触皮膚炎があります。光接触皮膚炎の注意喚起と適正使用を推進するため、医師や薬剤師などの医療関係者に対して、紫外線が強くなる春先から夏を中心に「久光製薬安全性情報」を発行し、ケトプロフェン外用剤による光接触皮膚炎の発現予防に努めています。

お客さまからのお問合せ

久光製薬は、商品に関するお問合せに応える窓口として、「お客様相談室」を設置しています。当社WEBサイトを経由したお問合せの他に、電話や手紙によるお客さま一人ひとりの声にも個別に対応しています。お問合せに対しては迅速で的確な対応に努めるとともに、お寄せいただいたご意見やご指摘は社内の関連部署と共有を図り、商品の改良や新商品の開発に最大限活かしています。

医薬情報の発信

久光製薬は、皆さまの日頃の健康管理やセルフメディケーション支援を目的として、当社WEB上の「健康サイト」において、関節痛・腰痛に対する対処法や更年期障害、水虫などの治療法に関する情報を紹介しています。

Voice



お客さまとのコミュニケーションと信頼関係の構築

薬粧事業部 ブロック長
一本 健市

私が目指す「お客様第一主義」は、多くのお客さまが当社の商品を手に取り、肌に貼っていただき、痛みが和らぐことの喜びと共に、貼付剤の驚きと感動をお伝えすることです。

この目標の実現には、当社の商品をお取引先さま（ドラッグストアなど）に採用していただく必要があります。そのためには、優れた商品力に加え、お取引先さまや特約店さまとのコミュニケーションと信頼関係が必要です。その結果、初めてお客さまの手に商品が届くことが可能になります。

私は、事業活動を行う上で、さまざまな提案やトラブル時の迅速な対応など、お取引先さまとの信頼関係構築を第一に考え、努めてきました。

今後も過去の経験と身に付けたスキルを活かし、多くのお客さまから必要とされ、喜んでいただける機会・環境を創造し活動に取り組んでまいります。

社会とのかかわり



■ 地域社会とのコミュニケーション

■ スポーツ支援

■ 社会的な支援活動



地域社会との コミュニケーション

企業市民として地域と共に発展することも重要なことと認識し、さまざまな地域交流に努めています。

文化・芸術を通じた、講演会をはじめとする各種文化イベントやスポーツなどを通じて地域の皆さまとのコミュニケーションを図ることで、地域社会の発展に貢献してまいります。

工場見学会の実施

久光製薬は、鳥栖工場および宇都宮工場において、一般の方々を対象とした工場見学を実施しています。当社の概要や活動内容を紹介した後、主力商品である「サロンパス®」および「モーラス®テープ」の製造ラインを見学していただき、医薬品の安全性・有効性確保に必要なGMP※を遵守した製造管理を理解していただいています。2019年度も多くのお客さまにお越しいただきました。

また、九州本社では、薬学部の学生を対象とした「早期体験学習」の受け入れを行っています。卒業後の進路をイメージしてもらうため、工場見学後に当社研究員とのダイアログを実施しています。この取り組みは、大学での教育カリキュラムの一部としても利用されています。

※GMP：医薬品の製造管理および品質管理に関する基準



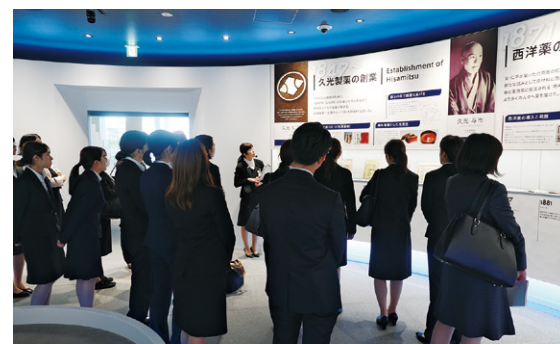
鳥栖工場見学のようす

お茶会の実施

日本の伝統文化を継承し、文化・芸術の振興に貢献するため、九州本社にてお茶会を開催しています。当社に隣接する別邸および西公園に、本格的な茶道を体験できる薄茶席や野点を楽しめる立礼席を設け、地元関係者や一般の茶道愛好家をお迎えしています。このお茶会は、誰もが気軽に伝統文化に触れることができる場として、地域の皆さまに広く親しまれています。

久光製薬ミュージアムの見学

久光製薬ミュージアムは、当社の170年の歴史、経営理念、精神および「貼る文化」を後世に継承することを目的として建設されました。屋外にイタリアの著名な彫刻家であるチェッコ・ボナノッテ氏の作品を多数展示しており、芸術文化に触れられる機会を提供しています。また、建築物省エネルギー性能表示制度の最高ランクである「ZEB (Zero Energy Building)」認証を取得しており、環境影響への配慮をしています。2019年度も多くのお客さまにお越しいただきました。



久光製薬ミュージアムの見学

文化財の保護

久光製薬は、「筑前の小京都」と称される秋月（福岡県朝倉市）の「武家屋敷久野邸」の維持管理を行うなど、地域の文化財の保護に努めています。



久野邸茅葺屋根葺き替え工事



その他のイベントによる地域コミュニケーション

久光製薬鳥栖市民講座

佐賀県鳥栖市で、幅広い分野の著名人を講師として招いて講演会を開催し、地域の方々への生涯学習、教養文化に触れる機会を提供しています。来場された皆さまからの入場料は社会貢献のために全額寄付しております。2019年度は国内で起きた災害義援金として日本赤十字社佐賀県支部に約110万円を寄付いたしました。



久光製薬サロンパス®シアター

地域活性化、地域の芸術・文化レベルの発展と向上および子どもたちへの教育・成長の助力を目的として、佐賀県・福岡県在住の小学生を、博多座で上演された久光製薬サロンパス®シアター「ミュージカル 天使にラブ・ソングを〜シスター・アクト〜」福岡公演（2020年1月25日、26日）に招待いたしました。

秋田竿燈まつり暑熱対策

久光製薬は、秋田県秋田市の地域活性化、地域の魅力発信を目的として、「秋田竿燈まつり」に協賛しています。暑熱対策として、当社の「デコデコクール® S」を配布し、開催中の健康管理に貢献しました。

東京2020参画プログラムによる地域コミュニケーション



久光製薬アートプロジェクト

東京2020大会を盛り上げていく「きっかけ」のひとつとして、近隣地域の子どもたちに「私が参加する東京2020オリンピック・パラリンピック〜誰もがスポーツを「する・観る・支える」社会の実現〜」というテーマで絵画作品を募集し、集まった作品を各事業所周辺に展示しています。スポーツを通じてグローバルな視点を持つこと、情操を養い豊かな心を育むことを目的としています。久光製薬は、東京2020オリンピック・パラリンピック オフィシャルパートナー（外用鎮痛消炎剤）です。



久光スプリングス

1948年に社内のクラブ活動として誕生した女子バレーボール部は、現在では「久光スプリングス」としてV1リーグに所属し、国内外の大会に参加しています。

2020年3月、久光製薬は、スポーツ庁が推進する「スポーツの成長産業化」への取り組みに賛同し、バレーボール事業を通じたさらなる地域・経済の活性化を促進するため、女子バレーボール部「久光製薬スプリングス」の運営事業を主にマネジメントする新会社「SAGA久光スプリングス株式会社」を設立し、7月にはチーム名を「久光スプリングス」と新たにしました。



「SAGA久光スプリングス株式会社」設立

海外での取り組み

久光インドネシア・シドアルジョ本社工場では、毎年流行するデング熱対策の一環として、周辺地域における蚊駆除剤噴霧活動を行いました。本社工場周辺には民家が多数あり、地域との絆を強める活動として一翼を担っています。



蚊駆除剤噴霧のようす（2019年12月）



スポーツ支援

久光製薬は、スポーツ支援を通じて、健全な社会の発展と人々の健康づくりを支援しています。当社は、スポーツを楽しむ機会をより多くの人に提供し、年齢や障がいの有無、地域のスポーツ文化や環境に合った機会を創造することが重要と考え、スポーツの可能性を最大限に活かしながら社会課題の解決や持続可能な社会の実現に貢献いたします。



社会的な支援活動

久光製薬は、事業活動に加え、さまざまな社会課題の解決に取り組むことが重要であると考えています。地域社会に密着したNPO法人や市民団体を人的・物的資源で支援し、協働することで少しでも社会課題の解決につなげたいと考えています。また、財団の支援を通じて医学・薬学の振興や啓発を図っています。

次世代スポーツ選手の育成

佐賀県や兵庫県などの子どもたちに対して、久光スプリングス選手によるバレーボール教室を開催しました。技術面の指導だけでなく、チーム内のコミュニケーションスキルの育成も行い、バレーボールの魅力と楽しさを伝え、次世代スポーツ選手の育成に努めています。



バレーボール教室 IN 秋田

サロンパス体操アクティブ推進

久光製薬は、海外拠点を中心に、オリジナル体操プログラム「サロンパス体操アクティブ」の普及に努め、世界中の人々の健康維持・増進に貢献しています。市民マラソン大会や各種スポーツイベントの会場で、参加する選手、ボランティアの方々と一緒に体操を行い、地域とのコミュニケーションを図るとともに「健康な体づくり」に取り組んでいます。



「サロンパス体操アクティブ」の普及

スポーツイベントの支援

各種スポーツの振興と人々の健康づくりを目的として、さまざまなスポーツイベントへ協賛を行っています。

ゴルフの国内公式戦「ワールドレディスチャンピオンシップ サロンパスカップ」への特別協賛をはじめ、市民マラソン、陸上競技などで協賛を行っています。各種イベントでは、参加者や来場者に対して、当社の専門分野の商品である鎮痛消炎剤を通じて、筋肉ケアの啓蒙活動を行っています。



さが桜マラソン協賛

◆その他のスポーツ支援の一例

国内外の競技連盟への協賛
FINA(国際水泳連盟) 公益財団法人日本バレーボール協会 公益財団法人日本山岳・スポーツクライミング協会 公益財団法人日本陸上競技連盟 一般社団法人日本パラ陸上競技連盟
国内外の競技大会への協賛
ワールドレディスチャンピオンシップ サロンパスカップ 東京マラソン2019 福岡マラソン2019 さが桜マラソン2019 2019佐賀インターナショナルバルーンフェスタ FIVBワールドカップバレーボール2019 FIVBビーチバレーボールワールドツアー2019 4-star東京大会 IFSCクライミング世界選手権2019 八王子 2019世界柔道選手権東京大会 2019世界ボートジュニア選手権 ITUワールドトライアスロン オリンピックオリフィケーションイベント FINAスイミングワールドカップ2019(7カ国) ※日本(東京)、中国(北京)、シンガポール(シンガポール)、ハンガリー(ブダペスト)、ドイツ(ベルリン)、ロシア(カザン)、カタール(ドーハ)

久光製薬株式会社ほっとハート倶楽部

久光製薬は、2007年に創業160周年記念事業の一環として、役員および従業員と、会社が一体となったマッチングギフト制度「久光製薬株式会社ほっとハート倶楽部」を設立いたしました。当倶楽部の趣旨に賛同した会員(役員および従業員)が毎月拠出した金額に対し、会社が同額を上乗せし、集まった運営基金を社会貢献活動に役立てています。寄付金の相手先に関しては、団体の活動内容、地域性、収支報告書の透明性、当社との利害関係がないこと、反社会的勢力でないことなどを十分に審査し、運営委員会の決議により決定します。2019年度は支援団体として56団体に総額560万円の寄付金を贈呈いたしました。

◆2019年度寄付金贈呈先(一例)

寄付先	主な活動内容
くまもと温暖化対策センター	地球温暖化防止による環境保護活動
かいろう基山	自然環境保護活動
食べて語ろう会	少年の非行防止・改善更生支援
とす市民活動ネットワーク	自然を通じた子どもの健全育成
のぞみいきいきアンビシャス広場	子どもの健全育成
こどもステーション山口	芸術を通じた子どもの健全育成
小城フットパスクラブ	地域の町おこし活動
古瀬の自然と文化を守る会	地域の伝統文化継承活動
釧路手をつなぐ育成会	障がい者の自立支援活動
石川県障害者スポーツ協会	障がい者支援活動
淡海かいづりセンター	がん患者と家族の支援活動
日本アニマルトラスト	動物の保護・愛護啓発活動
いのちをバトンタッチする会	いのちの大切さの教育・啓発活動
チーム東松山	東日本大震災の復興支援活動
アジア協会アジア友の会	発展途上国の支援活動
プラン・インターナショナル・ジャパン	世界の子どものための支援活動



寄付金贈呈式

日本赤十字社への支援活動

久光製薬は、日本赤十字社への活動支援として、街頭募金、献血活動、国内外の災害時の支援等を支援しています。また、当社は、「災害時における支援協力に関する協定」を2020年1月31日に締結いたしました。

支援活動	概要
海外たすけあい街頭募金	日本赤十字社が毎年12月に主催する海外たすけあい街頭募金に1996年から協力しています。2019年度は、全国13都市で477名の役員・従業員が参加し、694,688円を寄付いたしました。
献血活動	九州本社および宇都宮工場にて年2回、計161名の従業員が献血活動に積極的に参加しています。また、2018年度より、久光インドネシアでも献血活動を行っています。
国内外の災害支援活動	・2019年8月に佐賀県を中心に発生した豪雨災害による被災者支援のため、義援金として300万円の寄付をいたしました。また、「久光製薬株式会社ほっとハート倶楽部」による義援金200万円と合わせて計500万円を寄付しました。 ・令和元年台風第19号による被災者支援のため、義援金として300万円の寄付をいたしました。また、「久光製薬株式会社ほっとハート倶楽部」による義援金200万円と合わせて計500万円を寄付しました。
「災害時における支援協力に関する協定」締結	地震や台風等の災害発生時に、被災者、災害対応に当たる日本赤十字社職員ならびに赤十字ボランティア等のニーズに応じて、提供可能な物資を日本赤十字社に無償提供し、災害応急対策および災害復旧対策が円滑に実施されることを目的としています。

財団支援

●公益財団法人 中富健康科学振興財団

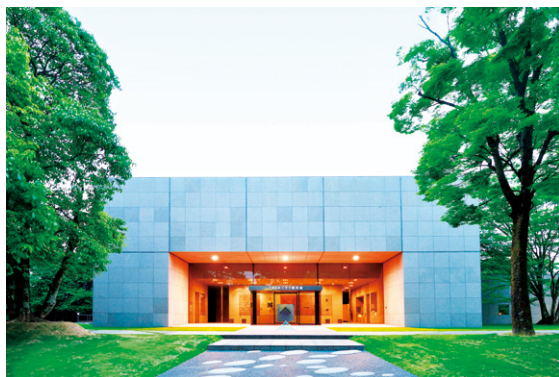
当財団は、久光製薬前会長故中富正義氏による私財の提供および久光製薬株式会社からの創業140周年を記念した資金提供により設立されました。健康増進に関する科学研究助成を行うことにより国民の健康の維持・増進を図り、活力ある豊かな経済社会の実現に寄与することを目的として活動しています。

2019年度は、研究助成、留学助成、学会・講演会の開催に対する助成80件と、健康科学の発展に功績があった研究者に対する中富健康科学振興賞2件に対して総額1億1,000万円を助成しました。

●公益財団法人 中富記念財団

「中富記念くすり博物館」(佐賀県鳥栖市)は、久光製薬創業145周年記念事業として1995年に設立され、2010年より当財団にて運営しています。佐賀県製薬業の礎となったくすりに関する産業文化を後世の人々に伝え、くすりの知識や歴史・文化を学べる場として皆さまに親しまれています。佐賀県鳥栖市東部と基山町一帯で発展した「田代売薬」に関する資料をはじめ、日本や世界のくすりにまつわる歴史的な資料を展示し、2016年には展示資料の一部が「佐賀県重要有形民俗文化財」に指定されました。屋外には薬木薬草園を併設しています。

また、青少年に対する人材育成を目的とした奨学金助成事業も行っています。



中富記念くすり博物館

●公益財団法人 中富スポーツ振興財団

当財団は、スポーツ団体の行う活動、スポーツ大会、選手および指導者等の育成に対する助成を行い、スポーツの普及・振興、競技力の向上を通じて、心身の健全な発達および豊かな人間性を涵養することに寄与することを目的としています。2019年7月に一般財団法人中富スポーツ振興財団として設立し、2020年3月に公益財団法人の認定を取得しました。2019年度は佐賀県内の14団体18事業に対して総額10,097,700円を助成しました。

新型コロナウイルスと戦う方々への感謝の意

久光製薬は、新型コロナウイルス感染症の治療のため、医療現場の最前線で日々ご尽力くださっている医療従事者の方々に感謝の気持ちを込めて、久光製薬ミュージアムおよび渋谷スクランブル交差点前サロンパス看板をブルーにライトアップする取り組みを行いました。

ブルーライトアップは、新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大するなか、医療従事者へ感謝の気持ちを表すことを目的として、イギリスから始まり、今や世界中に広がっています。日本では、MAKE IT BLUE JAPAN 実行委員会が、医療従事者への感謝の意味を込め、日本全国の主要都市を青く染める「LIGHT IT BLUE キャンペーン」を展開しており、当社もこの取り組みに賛同し、ブルーライトアップを実施しました。

また、当社グループの海外拠点であるアメリカ、フィリピン、インドネシア、シンガポール、タイ、マレーシア、香港、台湾などでは、このような困難な時に社会のために働く医療従事者等へ当社商品を寄贈するなどの支援活動を行いました。



渋谷スクランブル交差点前
サロンパス看板



久光製薬ミュージアム

従業員とのかかわり



人材

職場環境

労働安全衛生